

## 第4回第3次長井市食育推進計画策定推進委員会

日時：令和6年2月14日（水） 午前10時00分～

場所：市役所2階 庁議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 事務局説明
  - (1) 前回委員会の振り返り
- 4 協議
  - (1) 第3回策定推進委員会以降の加筆・修正箇所について
  - (2) 全体について
  - (3) 今後のスケジュールについて
  - (4) その他（委員から感想や今後の取り組み等）
- 5 その他
- 6 閉会

### 第3次長井市食育推進計画策定推進委員会 委員名簿

(敬称略)

	所属	氏名
1	長井市教育委員会 教育委員	小 野 卓 也
2	長井商工会議所女性会 会長	鈴 木 よ う 子
3	山形おきたま農業協同組合 理事	横 山 小 市
4	長井南中学校 母親委員長	井 上 恵
5	レインボープラン推進協議会 企画交流部会長	菅 野 春 平
6	長井市食生活改善推進協議会 会長	伊 藤 浩 呉
7	特別養護老人ホーム慈光園 調理課課長	安 部 香 織
8	長井市保育研究会 会長	中 川 純 子
9	給食共同調理場 栄養教諭	佐 藤 朋 江
10	長井市父母の会連絡協議会 会長	尾 形 良 一
11	地域おこし協力隊	坂 本 晃 一
12	公募委員	宇 都 久 美 子

### 第3次長井市食育推進計画策定委員会 事務局員名簿

(敬称略)

	所属	氏名
1	産業参事	赤 間 茂 樹
2	総合政策課環境政策推進室 主査兼係長	斯 波 優 美 子
3	健康スポーツ課 管理栄養士	安 江 恵 子
4	福祉あんしん課地域包括支援センター 補佐兼係長	安 達 道 代
5	子育て推進課 子育て支援係長	佐 藤 恵 理 子
6	教育委員会給食共同調理場 補佐	安 倍 玲 子
7	教育委員会学校教育課 指導主査兼指導主事	黒 澤 美 紀
8	地域づくり推進課 補佐兼生涯学習推進室長	吉 川 幸 代
9	長井市消費生活センター 消費生活相談員	嘉 藤 笑 香
10	農林課長 (事務局長)	梅 津 浩 一
11	農林課 農政振興補佐	石 塚 典 男
12	農林課 農政振興係長	小 林 一 美
13	農林課 会計年度任用職員	丸 山 美 雪

### 第3回策定推進委員会以降の加筆・修正箇所について

#### (1) 加筆・修正箇所（第3回策定推進委員会以降）

No.	章	掲載 P	変更	修正内容		備考
				修正前	修正後	
1	2章	7	修正		塩分摂取に関する表の下に具体的な塩分摂取量を追加 <u>(計画素案①参照)</u>	委員会後ご意見
2	2章	11	修正		地区別農家数の推移の表を差し替え <u>(計画素案②参照)</u>	委員会後ご意見
3	3章	21～22	修正		数値目標について、第3回委員会のご意見をもとに事務局で再検討し【資料4】のとおり再提案	第3回委員会
4	4章	23	追記		連携団体について補足 「取り組みを進める上で今後市が連携していきたい団体です。」 <u>(計画素案③参照)</u>	第3回委員会
5	4章	23～33	追記		担当部署欄の見直し P25に○と◎印に関する注釈を追記。 <u>(計画素案③参照)</u>	委員会後ご意見
6	5章	35	修正	男性も料理をしよう *自分の健康管理のため、料理教室等に参加し料理をしてみましよう。男性の家事参画は家庭円満にもつながります。	料理をしよう *自分の健康管理のため、料理を練習したり、食に関する知識を習得しましょう。料理をする男性は女性に比べて未だ少ないため男性も積極的に料理をしてみましよう。 <u>(計画素案④参照)</u>	第3回委員会
7	5章	36	追記		周知方法について追記 <u>(計画素案④参照)</u>	第3回委員会
8	資料編	41～42	修正		単位が漏れていたため、修正。 <u>(計画素案⑤参照)</u>	委員会後ご意見

### 第3章 数値目標に関するご意見について

#### ○全体の事務局整理

- ・食育推進計画は市民に食育に関心を持ってもらうことが大きな目的。
- ・目標の設定にあたっては、結果を求めるだけでなくどう取り組んでいくかプロセスを大切にしたい。
- ・目標の達成にあたっては関係団体の活動も大きく影響し、関係団体(学校、コミセン、PTA、食改等)はすでに多くの取り組みを実施している。食育推進計画の存在を知らない市民、団体も多いので、食育に関する活動の紹介を進めていくことで食育推進計画の周知と合わせて食育への関心を高めていきたい。
- ・食育の推進にあたっては、関係課が所管する関連計画(健康増進計画等)とのつながりが強い。特に基本目標2の食による健康づくりについては、関連計画の取り組みのうち食に関するものを食育推進計画にも掲げている。

#### ○基本目標1 関連のご意見・ご質問

No, 1

ご意見	対応
・農林課発信のみのカウントなのか関係課すべてを含むのかはっきりさせる。(例1-1農林課発信件数、1-2調理場だよりの発行など)	・範囲を広げすぎると目標の達成度もわかりにくくなるため、これから取り組みとしてやっていきたいと考えている「関係団体の取り組み紹介」の件数に絞ってカウントしたい。
・「関係団体の取り組み紹介」のみとするはどうか？	

No, 2

ご意見	対応
・どのような活動をカウントしているのかわかりにくいいため、コミセンの活動は分けた方が良くはないか？	・コミセンやPTAの活動は今後把握し紹介していきたい。 ・毎年県に報告している「食農教育の取り組み状況調査」は、市町村主催のほか任意団体等が実施している食農体験活動について把握している範囲内で報告するものなので、把握している取り組みを増やすという意味で県への報告件数の増を目標項目としたい。
・PTAの活動も項目としてはどうか？	

○基本目標 2 関連のご意見・ご質問

No,4～6

ご意見	対応
・高齢者に関する目標項目があっても良いのではないかと？	・高齢になる前に食に関する知識等を身につけられるようにしていきたい。 ・高齢者の健康づくりについては、介護保険事業で具体的に取り組んでいる。

○基本目標 3 関連のご意見・ご質問

No,7～12

ご意見	対応
・農業者が減っていく中で、すべての項目において現状より上げることは難しい。	農林課としては、環境配慮型農業の推進や新規就農者への支援施策を今後も行っていきたいと考えているため、現状より上がる目標値とさせていただきたい。

○基本目標 4 関連のご意見・ご質問

No,13

ご意見	対応
・学校に限定せず、郷土料理を楽しんだ回数や取り組みの回数を目標にできないか？ 例えば、学校もしくはコミセンで郷土料理を一緒に作る、幼児給食で郷土料理のメニューの日に祖父母参観を行い、一緒に食べる。	・ぜひそのような取り組みを呼びかけていきたいが、関係機関の事情等によることとなるため、今後の項目として検討したい。 ・「関係団体の取り組み紹介」で取り上げていく。
・市民アンケートなどをした方が良いのではないかと。(郷土料理などを知ってもらうためにも)	・今回も市民アンケートは事務局で検討し、コミセン等にご協力いただいて一部で実施できた。他のアンケートと合わせるなど工夫して検討したい。
	・現在把握しているデータから目標の設定ができないか。  案①郷土料理や伝統野菜を使用した給食を提供している保育施設の割合 R 中間年評価時アンケート調査結果 60%

案②郷土料理などの食文化について学ぶ機会がある保育施設の割合

R3 中間年評価時アンケート調査結果  
60%

案③地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えているか

R5 食育に関するアンケート

意識的に伝えている 12.1%

機会があれば伝えている 74.8%

全く伝えていない 13.0%

→①・②はしていない施設への負担が大きくなるため、③でどうか。

③で伝えている人を増やす。

### 3 食育推進の数値目標

本計画を着実に推進し、目標とする施策を実現するため数値目標を設定します。ただし、地域の実態や子どもの特性等に配慮して推進すべきものであるため、目標値の達成のみを追い求めるのではなく、どういったことに取り組んだのかなどプロセスも大切にしながら推進します。

	No.	項目	第3次計画 (R6~R10)	
			現状	目標
基本 目標 1	1	<u>農林課による市ホームページ等における関係団体の取り組み紹介（年間）</u>	<u>0件</u>	<u>6件</u>
	2	<u>「食農教育の取組み状況調査」における県への報告件数（関係団体の活動を含む）（年間）</u>	<u>11件</u>	<u>20件</u>
基本 目標 2	3	毎日朝食を食べる子どもの割合の増加 小学6年生（食べている、どちらかといえば食べている） 中学3年生（食べている、どちらかといえば食べている）	93.4%	100%
			93.6%	100%
	4	毎日朝食を食べる成人の割合の増加	82.9%	85%（R11）
	5	主食・主菜・副菜がそろった食事が1日2回以上の人の割合の増加	75.5%	80%（R11）
6	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（特定健康診査結果の中で）	29.2%	25%	
基本 目標 3	7	特別栽培米の作付面積	573ha	600ha
	8	レインボープラン認証農産物の認証面積	38.7ha	40ha
	9	新規就農者数	年平均 3.2人増	年平均 4人増
	10	地産地消に協力する店舗の数	48店舗	50店舗
	11	農産物直売所の売り上げ	4億7,045万円	5億円
	12	学校給食の農産物使用割合	県内産 50.7% 市内産 34.4%	県内産 50.7% 市内産 34.4%
基本 目標 4	13	<u>地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、意識的に伝えている人の割合（成人男女）</u>	<u>12.1%（※）</u>	<u>15%</u>

#### 数値の出典

- 1 市農林課調べ（ホームページ掲載件数、市報掲載件数、ラジオ放送件数等）（R4）
- 2 令和4年度食農教育の取組み状況報告書（R4）
- 3 全国学力・学習状況調査（R5）
- 4～5 健康増進計画アンケート調査（R5）
- 6 特定健康診査結果（国民健康保険加入者のみ対象）（R4）
- 7～10 市農林課調べ（R4）
- 11 川のみなと長井、菜なポート、伊佐沢共同直売所（R4）
- 12 市教育委員会給食共同調理場調べ（R4）
- 13 市農林課調べ（R5）※特定の範囲でのアンケート調査のため参考数値

## 今後のスケジュールについて（案）

### 1. 今後の計画策定スケジュールについて

日にち	内容
R6.2.15	庁議で報告
R6.2 月中旬～3 月上旬 (2 週間程度)	意見募集（パブリックコメント）
R6.3.21	市議会全員協議会で報告
R6.3 月末	食育推進計画策定・公表

### 2. 今後の作業について

- ・庁議等内部での意見反映
- ・パブリックコメントの意見反映
- ・文言等の再確認
- ・コラムの作成
- ・レイアウト修正（イラストの挿入等）
- ・脚注の挿入（わかりにくい言葉）

### 3. 令和6年度のスケジュール（案）について

時 期	会議等	内 容
5月～6月	第1回事務局会	①令和5年度事業の振り返り ②食育月間の取り組みについて
6月～7月	第1回委員会	③令和6年度の主な取り組みについて

※ご意見をいただきたい案件が発生した場合、第2回の委員会を開催させていただきます。